

この新聞に関する
ご意見・ご感想は
創門会迄

倉門新聞

2025年8月1日発行

8月号

そもそも創門会って？月に一回のゴミ拾い集団！？

型にはまることなく、街のさまざまな「やりたい！」に耳を傾け、それぞれができることをする。

目的は、この街を後世へとつなぐこと。時代と共に形を変えながら、「今を生きる」思いを引き継いでいく。

「自分の住む街がゴミでいっぱいのは嫌だ」と感じる人は多い。

しかし実際に、ゴミを拾おうと行動に移すには、勇気や時間、労力が必要だと、私自身感じている。

その一步を後押しするのが「創門会」であり、さらにその活動を支えるのが地域の皆さんの中存在だ。

「ゴミを拾う時間はないけれど、街をきれいにしたい」という思いを、創門会がつなぎ、地域へと届ける。

その思いが創門会や共感サポーターの勇気となり、行動となつて皆さんの元へ届く。届いた思いが「やってみよう」という気持ちや行動の連鎖を生み出していく。それこそが創門会の目指す地域創生であり、共助・共生社会の実現なのである。

目指すは街の応援団

1985年に「柳町調剤薬局」として開局。2018年に現・共同代表が事業承継し8年目を迎える。2025年4月より新体制となつた。

代表を務める古邊氏（薬剤師）は、門司で高校までを過ごし、長崎県の薬学部（6年制）を卒業。「医療従事者として地元への恩返し」との想いで、急性期病院で3年半従事。その後、柳町調剤薬局へ転職。経営を体系的に学ぶため、北九州市立大学マネジメント科で二年間学び、2025年に修士過程を修了。

学びを活かし、薬剤師・調剤薬局の価値向上、町興し・地域活性化に本気で取り組んでいる。薬剤師としてもアンチ・ドーピングの知識を有するスポーツアーマシストや研修認定などの資格も有する。

中村氏と町興しの任意団体「創門会」を発足。この新聞の文責を務めている。

門司区柳町1丁目1番23号
☎ 093・391・7882

特集

調剤薬局を街の“健康拠点”へ



JADA公認スポーツファーマシスト在籍

柳町調剤薬局

SINCE 1985

この新聞に関する
ご意見・ご感想は
創門会迄

倉門新聞

2025年8月1日発行

8月号

創門新聞 共感者サポーター 大募集！ 共感サポーター



MHCF
Pioneering New Medical Areas



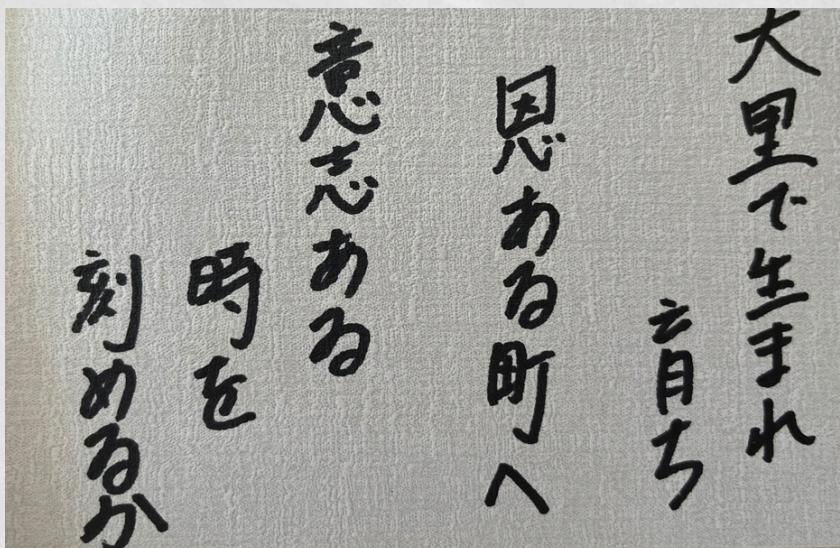
今月の言環

#ファーマシスト
#恩ある町
#時を刻め

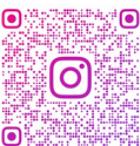
素晴らしい言環有難うございます。

恩ある町のため共に
時を刻みましょう！

そして今も昔も、さらに
未来にも
誇れる町 門司へ。



皆様の言環
お待ちしております。



お問い合わせ